



3

校長室だより（令和6年度）

一気に暑さが体に堪える季節になりました。さあ、もうすぐ夏休みですね。最近、綾瀬西高校の周囲は、あることでとても騒がしいことになっています。朝、学校に到着すると、頭上から頻りに大音量で鳴いてくるあの生き物…そう、セミです！そして学校を出る夕方の時間、どこからともなく押し寄せるように低音で響くあの合唱…そう、カエルたちです！本校は目の前を目久尻川が流れ、校舎が木々に囲まれている環境。彼らにとって絶好のパラダイスなのでしょう。



もちろん、私にとっても綾瀬西高校は、楽園です。

ぜんこうりつてん 全公立展in パシフィコ横浜

今年度の全公立展は6月15日（土）の開催でした。今年度最初の広報イベントです。

総務・広報グループの先生方を中心に、何人もの先生が助っ人で支えてくれました。ボランティア部と生徒会の生徒も応援に来てくれて、来場した中学生や保護者に一生懸命声をかけてくれていました。私もみんなに交じって中学生たちに説明したのですが、自分の学校のことをお話しするのは嬉しいものですね。本校の公式(?)キャラ「どきんこ」と「もっくん」が付いたお揃いの名札をつけ、33,000人もの来場があったホールで、多くの方に宣伝してきました。

左の写真がボランティア部の生徒とグループリーダーのT先生、右が生徒会の生徒です（ちなみに白い後姿は教頭先生です）。

掲載に快く応じてくれました。ありがとうございます！



授業にお邪魔しました・2

教室にお邪魔する授業観察も、6月の終わりには全ての先生に終了しました。国語の教員ですので、文学国語の『山月記』の見学などは、テンションもつい上がります。この小説の冒頭の一文は結構長いのですが、今でも空で言えますよ。「隴西の季徹は博学才穎、天竺の末年、若くして名を虎榜に連ね、ついで江南尉に補せられたが、性、猜介、自ら恃むところ頗る厚く、賤吏に甘んずるを潔しとしなかった。」難しい言葉だらけですが、力強い文です。授業ではアニメーションで情景を視覚的に提示したり、プリントの構成に工夫を凝らしたり。先生が生徒のために仕掛けた学びのあれこれに、気づけば私もすっかりはまっていました。

数学の確率の授業では、導入に身近にある具体的な「〇〇の確率は…？」が紹介されていました。例

えば少し考えて分かってきそうな「サイコロで一番出る確率が高い目は？」。(比重差があるので「5」の目です) 考え込んでしまったのは、「ガリガリ君を食べて当たりが出る確率は？」 「急病者が出た場に、たまたま医師がいる確率は？」・・・ううむ、世の中は面白い数字にあふれていますね。

何人かの先生が、指名の際にルーレットのアプリを使っていました。これ、自分が生徒だったら、結構ドキドキします。

教室で、体育館やグラウンドで、先生方が魂を込めて準備した授業が毎日展開されています。学校で生徒が学んでいる、この当たり前のことを、とても有り難いと思えてしまいます。(年でしょうか)

綾西のすべての生徒が安心して安全に学校生活を送れるよう、職員みんなで頑張っています。

コミュニケーション技術の授業にて

6月25日(火)の「福祉」の授業、2年生の生徒が選択している「コミュニケーション技術」では、手話の講師の先生と手話通訳士の先生をお呼びし、耳の聞こえない方と生徒たちが手話で会話をするという、わくわくするような実践的な内容でした。この企画、ぜひ見学したいと楽しみにしていました。

教室には、綾瀬視聴覚障害者協会の方お1人と4~5人の生徒が組み、イスを円にして座ったグループが3つ。「好きなたべものは？」や「出身地は？」など様々な話題をもとに、手話での会話が盛り上がっていました。生徒たちはここまで授業で学んできたことを駆使し、懸命に会話をしています。講師の方に言いたいことがやっと伝わったことで歓声が上がったり、講師の方の手話から目を離さず、何とか理解しようと熱心に話し合ったりしています。その集中力のもたらす熱気、すごいこと！そして、そこにいるすべての人が動かす手の、なんと雄弁なこと！

手話で通じ合えたという実感を得た生徒たちの満面の笑顔に、ひとり胸を打たれていました。素晴らしい学びの場をいただいたことに、感謝しかありません。

さて、職員玄関の生け花シリーズ第2弾です。今回は、顧問の1人であるK先生が今日初めて活けた、という作品も展示していました。初作品ながら、インストラクターの先生にしっかり褒められていましたよ。私の撮影の腕前はさておき、何でも器用にこなすK先生の作品は、どれでしょう？

A



B



C



(答え: Bです!) また、お知らせしますね。